

津山市教育大綱（案）

私たちのふるさと津山市は、岡山県北東部に位置し、北部は中国山地の一角を形成し、南部は津山盆地と呼ばれ、標高100mから200mの平坦地が広がっています。約1300年前にこの地に美作国の国府が置かれてから、現在に至るまで、地域における政治、経済、文化の中核として発展してきました。また、周辺部には美しい里山の風景が広がり、都市と自然が融合する、表情豊かな地域です。

江戸時代、津山藩では学問を奨励しており、日本初の本格的な化学書「せいみかいそう舎密開宗」を著し、「細胞」「繊維」「酸素」などの用語を造語したうだがわようあん宇田川榕菴や、日本に開国を迫るペリーが持参したアメリカ合衆国大統領の親書を翻訳したみつくりげんぼ箕作阮甫など、多くの優れた洋学者を輩出しています。彼らの遺した業績は、明治以降の我が国の発展を支えました。

未知なる学問に挑み続けたこうした先人たちの姿に学び、変化の激しい時代を生きる私たちは、これからの未来を生きるこどもを育む教育の姿をこの大綱に描きました。ここには、津山のこどもたちが社会の中で自信と誇りを持って歩んでほしいという願いが込められています。

令和3年2月1日

津山市長 谷口圭三

1 私たちが育てたいひと

- (1) 自立して、自己の将来を切り拓き、たくましく生きていけるひと
- (2) 社会の中で広い視野を持ち、人や地域とつながり、互いを認め合って生きていけるひと
- (3) ふるさとを愛し、津山人としての誇りを持って生きていけるひと

2 私たちがめざす教育

- (1) 自ら学ぶ力の育成
夢や目標をみつけられるよう、物事に興味や関心を持ち、自ら体験し学ぶ力を育みます。
- (2) すこやかな心とからだの育成
健全な社会生活を送るため、互いを思いやる心と健康なからだを育みます。
- (3) 自己肯定感の醸成
様々な体験や経験を通して、自分の良さをみつけ、自信を持って主体的に生きていく力を育みます。
- (4) 人とつながる力の育成
多様性を認め、他者を尊重する姿勢や対話する力を育みます。
- (5) 津山を思う心の醸成
津山の歴史や文化に触れる機会をつくり、ふるさとを愛する心を育みます。

3 私たちがつくる学びの場

- (1) 夢中になって遊ぶことができる園
園児が、豊かな体験をする中で自ら気付いたり考えたりできる園をめざします。
- (2) 学ぶことが楽しくなる学校
児童生徒が、自ら深く考え教師や友人と対話しながら学ぶ学校をめざします。
- (3) 安心して学ぶことができる学校・園
落ち着いた学習・保育環境を構築し、幼少期から一貫した個に応じた学びが充実する学校・園をめざします。
- (4) 地域と共にある学校・園
家庭や地域と連携し、地域全体でこどもを育てる学校・園をめざします。

※ 「学校」は、小学校、中学校のことです。「園」は、保育園（所）、幼稚園、認定こども園のことです。